

獨協大学平成20年度事業報告

- 法学部総合政策学科の開設・支援
- 外国語学部交流文化学科の開設準備
- 教育支援室による授業・学習・研究支援
- 環境宣言・省エネルギー運動の推進
- 松原団地駅前施設(仮称)および東側新教室棟建設着手
- 「獨協大学父母の会」設立支援
- キャンパス防犯体制の強化
- キャリアディベロップメント講座の開講

平成20年度は、前年度から進めている「大学改革」と「キャンパス再編」の第2ステップとして、法学部総合政策学科の開設、外国語学部交流文化学科の開設準備、教育研究支援強化、父母の会設立によるステークホルダーとのネットワーク強化などの改革と、松原団地駅前施設(仮称)と第2棟跡地に建設される東側新教室棟の工事着手を中心に、環境に配慮したキャンパス再編事業に取り組みました。

充実したサポートを提供する教育支援室



平成20年度事業報告書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業内容	結果・備考等	予算	実績	差異
教学関係	①外国語学部 1) 交流文化学科開設	1) 平成21年度4月に開設となる新学科の広報・周知活動(広報パンフレット、ホームページ、高校訪問、開設記念講演会等)を積極的に展開した。	5.0	4.2	0.8
	2) 独英仏3学科活性化事業	2) 学部共通科目の充実や学科(独英仏)間の提携科目構想を含むカリキュラム改正を行った。	4.5	2.6	1.9
	3) 英語教育におけるe-learningの充実	3) レベル別クラス編成により、上位クラスが使用しているe-learning教材(Criterion)を新たに英語学科全クラスに導入し、e-learningの質的充実を図った。	2.5	2.5	0
	②国際教養学部 活性化事業	1) 開学2年目となる国際教養学部の情報を受験生、社会に対し積極的に発信した。	2.5	0.7	1.8
	③経済学部 語学教育の充実、キャリア支援等の活性化事業	2) 学部活性化に繋がる情報収集、調査活動を行った。			
		1) 学部としての語学教育重視、キャリア支援等の充実を図り、学部活性化に繋げた。	6.0	1.6	4.4
	④法学部 総合政策学科開設支援 学部創設40周年記念事業等の活性化事業	1) 新学科「総合政策学科」の開設に伴う広報、周知活動を行った。	4.5	3.0	1.5
	⑤法科大学院 学習支援強化	2) 法学部創設40周年記念論文集を刊行した。			
		1) 名古屋大学法学教育支援システム、多機能シラバスシステムの利用により学習効果を高めた。	0.6	0.6	0
社会貢献関係	1) オープンカレッジ等の新規開設講座準備	1) 経済学部の授業にも関連のある、国家資格として人気となっている「ファイナンシャルプランナー3級試験対策講座」を新規開設した。	0.9	1.6	△0.7
管理運営	1) 新図書館における資料整備とサービスの充実	1) 天野貞祐記念館移設に伴い資料の整備を行い、迅速な図書サービスの向上に努めた。	3.7	3.4	0.3
	2) 学内ネットワークセキュリティの強化	2) メールサーバーを更新し、コンピュータウイルスからの防御、スパムメール判別処理、通信の記号化処理などのネットワークセキュリティの強化を図った。	29.5	16.3	13.2
	3) 教育環境の整備	3) 教室PC等の更新および全教室PCのOSをXPにし、情報教育環境を整備した。	36.9	42.5	△5.6
	4) 教育・学習支援	4) 教育支援室による授業支援、学習支援、研究支援、機材対応、講演会等学内イベント支援の充実強化を図った。	123.2	118.1	5.1
	5) 35周年記念館周辺の警備強化	5) キャンパスの防犯強化として、35周年記念館周辺の警備強化を図った。	3.8	3.1	0.7
	6) 「獨協大学父母の会」の設立準備	6) 「獨協大学父母の会」設立に向けて、組織構成、規程整備、事業計画等設立準備を行った。	3.0	3.2	△0.2
	7) 大学近隣の迷惑駐車対策	7) 大学周辺の環境整備のためバイク通学による迷惑駐車を取り締まりを強化した。	2.4	2.9	△0.5
	8) 外国語学部新学科入試広報	8) 平成21年4月に開設となる交流文化学科の学生募集広報を強化した。	5.0	13.5	△8.5
施設関係	1) 東側新教室棟の建設	1) 第2次キャンパス再編事業として、老朽化した教室棟を取り壊し、新教室棟の建設準備に着手した。	1,260.0	1,200.0	60.0
	2) 松原団地駅前施設(仮称)の建設	2) 松原団地駅前所有地に新女子寮等の総合教育施設の建設を開始した。	1,000.0	1,001.8	△1.8
	3) 新図書館自動書庫の増設	3) 天野貞祐記念館新図書館に自動書庫の第2期拡張工事を行った。	105.0	121.7	△16.7
	4) グラウンド管理施設の建設	4) グラウンド整備事業として、グラウンドの管理施設を建設した。	28.0	25.3	2.7
設備関係	1) 図書購入	1) 資産図書を購入した。	54.0	39.0	15.0

主な用語について

- 帰属収入 当該年度に純粋に帰属する収入との意味で、資金収支計算書にある他人資金の借入金や次年度分の授業料等の前受金などは計上されない。
- 学生生徒納付金 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等。
- 手数料 入学検定料、証明手数料等。
- 補助金 国や地方公共団体等からの補助金収入。
- 雑収入 退職金財団からの交付金を含む。
- 基本金組入額 学校会計では、帰属収入からまず、学校の基礎となる資産と資金、将来計画のための資産と資金、基金として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目について基本金として確保し、残りを消費支出として運営に充てるように規定している。
- 消費支出 当該年度において消費される人件費、教育研究経費、管理経費と資金の移動を伴わない退職給与引当金繰入額、減価償却額等が計上される。
- 人件費 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、アルバイト、パートの職員に関わる給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、年金、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額。
- 教育研究経費 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験の経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその施設設備に係る減価償却額が計上される。

平成21年度事業計画のポイント

— 創立45周年を迎える獨協大学。改革の速度がさらにアップ —

今年度の取組をお知らせします

創立50周年に向けた「基本計画・第5次見直し」に沿って「教育・研究のインフラ改革」と「キャンパス再編」を加速していきます。これまでの諸改革をさらに推し進め、常にアウトカム(成果)を意識した取組を実行するため、財源の効果的配分、業務改善を行います。

教学関係

- 交流文化学科の運営支援
- 学部活性化事業・全学共通カリキュラムの強化

今年4月に開設したばかりの交流文化学科の広報強化と、既存学部学科の活性化推進、本学の特色である外国語教育と教養教育の要となる全学共通カリキュラムの充実を図り、学士課程教育の質の確保と学生の満足度を高めていきます。

環境対応・地域貢献

- 省エネルギー推進のための取組(ESCO事業)

本学の取組が、国土交通省「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業」に採択されるなど、環境に配慮した積極的な活動に取り組めます。

- オープンカレッジ、キャリアディベロップメント講座の充実

オープンカレッジでは「観光が面白い」など新規10講座の開講と、キャリアディベロップメント講座のうち「フィナンシャルプランニング講座」「秘書技能検定試験対策講座」など地域市民向け講座を拡充します。

- 地域向け施設の設置

松原団地駅前施設(仮称)に、地域に向けた法律サービス施設や社会人向け大学院教室を設置します。

今年度の重点項目

- ① 外国語学部交流文化学科の支援
- ② 学部・学科教育の活性化
- ③ 全学共通カリキュラムの強化
- ④ 大学院の活性化
- ⑤ 教育・研究支援体制の再構築
- ⑥ 松原団地駅前施設(仮称)の建設
- ⑦ 東側新教室棟の建設
- ⑧ キャンパス・ランドスケープ計画と低炭素・省エネルギー計画の推進
- ⑨ キャンパス防犯体制の強化

学生サービス・管理運営関係

- キャリア支援の強化

厳しさを増す就職戦線において、キャリア支援の強化として、OB・OGによる企業説明会やキャリアカウンセラーの増員を計画しています。

- 奨学金の充実

「新菱冷熱奨学金」、「父母の会奨学金」を新たに創設し、学生支援の強化を図ります。

- 父母の会運営支援

昨年度発足した「獨協大学父母の会」への支援を継続して行っています。

施設・設備関係

- 東側新教室棟の建設

総合的な「教育支援機能」、「利便性・快適性」、「最先端の省エネルギー・環境技術」を持つ新教室棟の建設が、平成22年7月の竣工に向け進んでいます。

- 松原団地駅前施設(仮称)の建設

敬和館(女子寮)と、「地域と子どもリーガルサービスセンター」、「獨協地域と子ども法律事務所」、「社会人向け大学院教室」を含む「松原団地駅前施設(仮称)」が誕生します。

平成22年2月竣工予定で工事が進められています。



東側新教室棟
完成イメージ図

平成21年度事業計画書(主な内容)

(単位:百万円)

	事業名称	事業内容	予算
教学関係	1) 外国語学部新学科(交流文化学科)の運営支援	1) 新学科「交流文化学科」の開設に伴い、広報・周知活動の強化やツーリズム・観光系教授法開発等に努めます。	3.0
	2) 4学部活性化事業	2) 学部活性化事業により新学部・新学科開設の実現に至ったように、各学部(学科)に特化した活性化促進費の有効活用により、学部教育の活性化・充実を図ります。(広報戦略活動費、将来計画、その他活性化促進諸経費等)。	17.0
	3) 全学共通カリキュラムの強化	3) 全学共通カリキュラム活性化事業として、Webサイトの作成やFD・講座開発の研究、他大学調査等を行います。	2.3
	4) 英語教育におけるe-learningの充実	4) 英語学科全クラスに導入したe-learning教材「Criterion」を新学科にも広げ、e-learningの充実を図ります。同時にTAの活用や「文書匿名評価システム」を利用し、授業内容の一層の充実に努めます。	2.7
	5) ICZにおけるチャットルームの充実	5) 授業以外にネイティブとのコミュニケーションの機会を提供し、参加学生からも好評である英・独・仏・西・中・韓国語のチャットルームの充実を図ります。	3.3
	6) 大学院の活性化事業	6) 3研究科の広報強化を図るとともに、魅力ある大学院として将来計画を見据えた他大学院調査等を行います。	2.0
	7) 獨協クラス(獨協埼玉高校)の整備	7) 高大連携強化の下、第I期入学生に対する支援と各種アンケート調査の実施や出向講義、高校教員との連携強化に努めます。	1.3
	8) 国際戦略の拡大	8) 世界の大学関係者が一堂に会するNAFSA総会に出席し、同時に本学を紹介するブースを設置し、新規協定校の開拓を図るとともに英語版サイトの充実に努めます。	3.2
	9) 教育・研究支援の全学的点検と強化	9) 本学の教育・研究体制を強化する組織(教育・研究支援センター)設立構想のため各種調査を行います。	1.0
学生サービス・管理運営関係	1) 「学報」の復刊	1) 学報を戦略的広報の一環としてとらえ、復刊します。	3.7
	2) 創立50年史の編纂準備	2) 編纂作業部会を中心に創立50周年に向け刊行する「獨協大学50年史」の準備に取り掛かります。	1.0
	3) 獨協大学父母の会支援	3) 設立間もない父母の会に対し、事業計画に基づいた事業展開が円滑に進むよう支援します。	3.8
	4) ホームページでのWebシステム強化・充実	4) ホームページ等Webを利用した広報の強化・充実を図るとともに、情報発信機能は戦略的に重要であることからWebシステムを強化し、迅速な対応に努めます。	3.0
	5) 図書館カウンター業務等の拡充	5) 授業実施回数の増加および試験に伴う日曜開館日の増加、学生のニーズに対応していきます。	2.7
	6) 構内警備・防犯の強化	6) 学生会部室棟に防犯カメラを設置し、部室棟内の防犯強化を図ります。	0.7
	7) キャリア支援強化	7) キャリア支援強化として、キャリアカウンセラーの増員を行い、年々増加する窓口相談に対応するとともに、本学OBを積極的に活用した企業説明会の実施や、就職体験記の更なる充実を図ります。	8.3
	8) 奨学金の充実	8) 新たに「新菱冷熱奨学金」を創設し、学生の学習支援を行います。	2.6
	9) 大学創立45周年行事	9) 創立50周年を目前に控え、本学が掲げてきた人間形成教育の原点を確認する一つの節目となる創立45周年の記念行事を行います。	2.0
地域貢献関係	1) オープンカレッジ等新規講座の開設・拡充	1) 新規講座として好評であったファイナンシャル・プランナー3級講座に新たに2級講座を設け、拡充を図るとともに交流文化学科のキャリア支援対策として、旅行業務取扱管理者試験対策講座を設けます。	4.4
	2) 自治体との連携強化	2) 大学・草加市文化交流事業として、青少年イベントや市民行事に積極的にに関わり、交流事業を展開します。	1.0
施設・設備関係	1) 東側新教室棟の建設	1) 第2次キャンパス再編事業として、教室棟(第2・3棟)を取り壊し、新教室棟を建設します。(平成22年度竣工)	2000.0 (総工費51億円)
	2) 松原団地駅前施設(仮称)の建設	2) 松原団地駅前所有地に教育型新女子寮、子どもリーガルサービスセンター、社会人向け大学院教室等の機能を有する施設を建設します。(平成21年度竣工)	970.0 (総工費20億円)
	3) 低炭素・省エネルギー計画(ESCO)事業	3) 大学の使命として低炭素・省エネキャンパスの実現を目指し、平成21年度より、新たな環境問題に取り組みます(高効率化照明機器への取替え他)。	(総額2.4億円)
	4) 図書購入	4) 資産図書を購入します。	54.0
	5) 教育環境の整備	5) ・PCの更新 ・CAL教室の効率的運用を図るため、天野貞祐記念館にさらに1教室を増設 ・図書館において、蔵書検索専用PC机を車椅子対応型に仕様変更するとともに、館内バリアフリー化の推進	23.8 8.0 0.8